



9/24 音と光が織り成す幻想的な世界 ～音と光の祭典～

▶希望の樹には、1,000通のメッセージが寄せられました



宮崎兄弟の生家で、11回目となる音と光の祭典が、一小校区元気づくり委員会により開催されました。バラエティに富んだステージや滔天マルシェに、1,000名を越える参加者も笑顔を見せていました。ことしも一小の6年生が企画・運営にも参画し、滔天と孫文について紙芝居を作り、発表しました。また、熊本地震の被災者に向けてのメッセージを希望の樹として会場に展示しました。日没後、竹灯笼に灯がともると、会場は神秘的な雰囲気に包まれました。

9/25 丹精込めて作られた荒尾の誇り ～荒尾梨品評会～

▶ことしも、梨農家の自信作が出品されました



市特産の荒尾梨「新高」の品質向上とPRを行うため、JAたまなと荒尾梨部会はあらおシティモールで荒尾梨品評会を開催しました。市内の梨農家55軒が腕によりをかけた自信作を出品し、梨の糖度・硬度・形・食味など品質を競いました。最優秀賞「優等」には山田雄作さん(野原)、大きさを競う「ジャンボ賞」には桑原繁満さん(平井)の1.6kgの大玉が選ばれました。会場の外では、梨の試食即売会などのイベントも開催され、多くの人でにぎわいました。

9/25 秋の味覚 金山産のカライモを満喫 ～カライモ掘り大会～

▶参加者は、皆それぞれに大きなカライモの収穫を楽しみました



府本地区協議会はカライモ掘り大会を金山下区のカライモ畑で開催しました。このカライモは、府本小の6年生も参加し、昔ながらの苗床づくりを体験して農業や食の大切さを学びつつ栽培したものです。市内外から多くの人に参加し、金山の赤土から採れる大ぶりのカライモに、子どもも大人も歓声を上げていました。収穫後は、カライモを多くの人々が購入。カライモ入りカレーやふかしたカライモなども振る舞われ、参加者は地域の秋の味覚を満喫しました。

9/29 何事も二人で乗り越え 50年 ～金婚夫婦表彰式～

▶謝辞を述べる坂田光輝さん(左)・尚子さん(右)夫妻



金婚夫婦表彰式を文化センターで行いました。熊本日日新聞社と荒尾市の共催です。ことしは、金婚を迎えた64組が祝福されました。山下市長は、「助け合い、励ましあいながら50年の月日を過ごされたことと思います。今後も、健康とご多幸られますように」と祝辞を述べました。金婚夫婦の代表である坂田光輝さん・尚子さん夫妻(緑ヶ丘3丁目)は、「長いようで短かった50年。尊重しあい、気遣いながら過ごすことが仲良くいられる秘訣ですね」と話しました。

地域の活動 掲示板

カライモ畑除草作業



8/21

府本地区協議会

やはたグリーン作戦



9/11

八幡地区協議会

中央地区親睦GG大会



9/24

中央地区協議会、よかまち中央会

府本小学校除草作業



8/21

府本地区協議会

夕方市



9/17

二小元気会

グラウンドゴルフ大会



9/25

万田中央地区協議会

そうめん流し



8/28

みどりが丘元かい

味噌作り講習会



9/18

桜山げんきかい

玉ネギの種まき



9/25

清里地区協議会

竹灯笼づくり



9/4

一小校区元気づくり委員会

カライモ掘り大会前日準備



9/24

府本地区協議会

桜山ふれあいげんき祭り



9/25

桜山げんきかい

寿

ご長寿 おめでとうございます



滝澤マチさん(新生西)

11月9日に107歳の誕生日を迎え、市内最高齢者として3年目になられます。以前は、畑仕事など農業に従事し、機も織る働き者で仕事を一生懸命していたそうです。また、100歳まで草取りや洗濯をしていたそうです。

ご家族は、「甘い物が好きで、元気がいい母です。」と話していました。



武藤ナツエさん(オレンジヒル小岱)

9月14日に100歳の誕生日を迎えられました。若い頃には福岡や荒尾の料亭で働いていました。花が大好きで、家に植えた花を近所の人に配っていたそうです。また、定年後は、三姉妹で九州各地を旅行していたそうです。

ご家族は、「朗らかな性格で、物知りです。」と話していました。